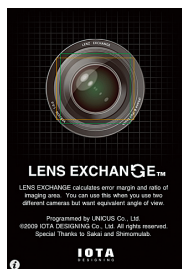


# 新製品レビュー New Products Review

一発換算！どんなカメラであっても必要なレンズがわかる



## イオタデザインiPhone/iPod touch用レンズ換算アプリケーション Lens Exchange

マリモレコース 江夏 由洋

AppleのiPhone 3GSはユーザー数も増加し、多くの利用者を目にするようになった。その魅力は何万もの数のアプリケーションであり、これまでの携帯端末にはないタッチパネルによる優れた操作性であると考えられる。

App Store開設からわずか9カ月で10億ダウンロードを達成したという、さまざまなアプリケーションは、エンターテインメント、教育、ゲームなど、18ほどのジャンルに分かれているが、好みのものを探し出すのも一苦労なほど、その種類は膨大である。

今回はApp Storeの1ジャンルである「写真」から、今年の夏にイオタデザインより発売された「Lens Exchange(レンズ・エクスチェンジ)」をインストールし検証してみた(写真1)。

### 違うカメラ・レンズで画角を合わせた撮影

これまで、ロケハン時のカメラと本番撮影のカメラが違う場合や、スチルカメラで撮影した写真と動画の画角を合わせてほしいなど、撮影の現場ではさまざまなカメラを使い、同一の画角を撮影したいことがよく



写真2 2/3型CCDのビデオカメラ+12mmレンズで仮撮影し、本番はキヤノンEOS 7Dの場合、使用焦点距離は29.26mmと表示された

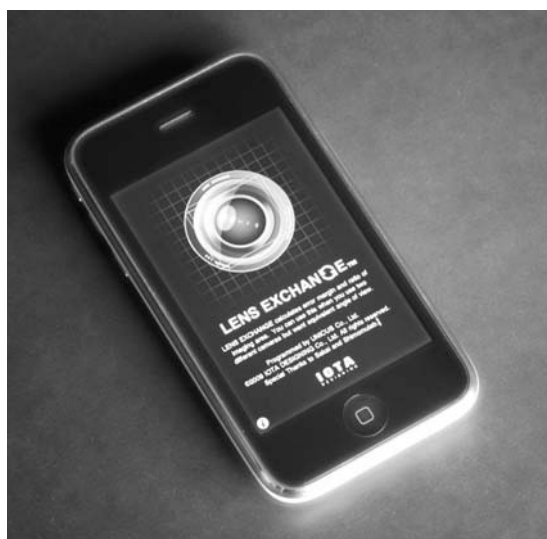


写真1 Lens ExchangeをインストールしたiPhone。言語：日本語と英語、必要条件：iPhone および iPod touch 互換、iPhone OS 3.0以降が必要、購入：iTunes Store内のApp Storeにてダウンロード

ある。今年秋にはHD動画撮影に対応したデジタル一眼レフとしてキヤノンからEOS 7D、ニコンからD300sが発売されるなど、さまざまなデバイスサイズ(撮像面サイズ)のカメラが発売され、そういった場面はこれから増えてくると思われる。

実際現場で適正なレンズを選ぶためには、その都度電卓を持ち出し平方根を求め、対角÷対角の倍率を使用するレンズの焦点距離にかけ算というような「換算式」を自作のエクセルシートに情報を記載していたが、正直相当面倒であった。

そのような場面でこの「Lens Exchange」が大活躍する。iPhoneから起動して、プリセットにセットされた撮像面サイズとレンズ焦点距離を選択すると、他の撮像面サイズカメラで同一の構図を得るために必要なレンズ焦点距離を算出し、一発でその数値とダイヤグラ

ムを表示してくれる便利な計算機だ。

## 画面の縦横を数値と図形で表示

たとえば、ロケハンで2/3型CCDのビデオカメラ+12mmレンズで仮撮影し、本番当日はキヤノンEOS 7Dで撮影する場合、「Lens Exchange」の換算結果は29.26mmと表示された(写真2)。

デザイン性に優れたインターフェースでフォーマットの縦横比を数値と図形で表示してくれるため、視覚的にもわかりやすく、入力時のミスも防ぐことができそう。

写真2では対角の値で換算しているが、「切替」スイッチを押すことで縦辺と横辺それぞれの換算結果も計算できるため、4:3や16:9の画角を使い分ける際にも対応できそうである。

また撮像面、レンズサイズは共にインチサイズでの入力も切り替えが可能なほか、縦横の構図切り替えも可能となっており、これは大判のカメラを使う写真家にも喜ばしいことだろう。

## プリセットの追加も簡単に可能

プリセットはスチルカメラ、スチルデジタルカメラ、ムービーフィルム、ビデオカメラがそれぞれのタグ分けされており、インストールした時点でビデオカメラのプリセットは「2/3inch」「1/1.8inch」「1/2inch」「1/2.5inch」「1/3inch」の5種類、フィルムのプリセットは「8mm」「16mm」「35mm」「65mm」「70mm」の5種類がある(写真3、4)。

購入時のプリセット数は少ないが、ユーザーによるプリセットの追加は、タッチパネルにより直感的に使用できるので簡単である。画像面ボタンをクリックすることでプリセットを入力できるほか、編集画面にも簡単にアクセスできる(写真5)。ここでは編集メニューでキヤノンEOS 7Dのプリセットを追加してみた(写真6)。また追加情報の欄はメモ帳代わりに使えるので、これもいざというときに便利である。

使ってみると非常に単純な計算ソフトであるが、とても便利である。複数のカメラやデジタル一眼レフで

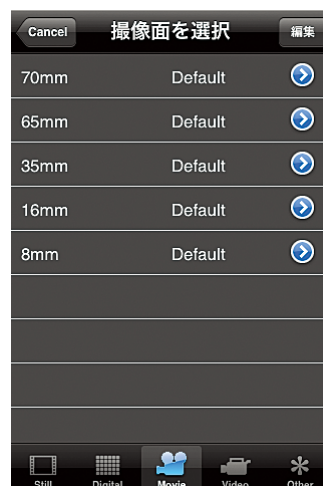
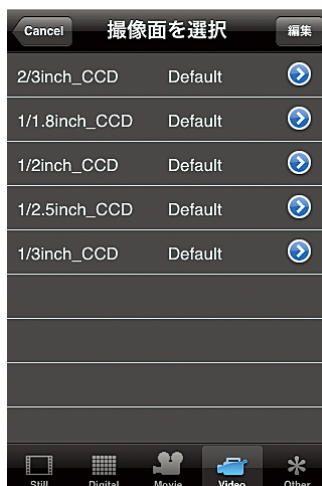


写真3、4 ビデオカメラのプリセットは「2/3inch」「1/1.8inch」「1/2inch」「1/2.5inch」「1/3inch」の5種類、フィルムのプリセットは「8mm」「16mm」「35mm」「65mm」「70mm」の5種類がある



写真5 プリセットはユーザーが入力できる



写真6 キヤノンEOS 7Dのプリセットを追加してみた

の動画撮影というシーンにおいて、「CCDの大きさやデバイスの大きさにレンズを合わせたい」というカメラマンのニーズは増えていくだろう。レンズ角の計算は単純作業ではあるが、現場では間違いがあってはならないことである。

カメラマンにとって限らないカメラとレンズの組み合わせをわかりやすく管理してくれる「Lens Exchange」は、新規格のカメラが増える昨今、外出先や機材発注の電話、ミーティング中であっても素早く効率的にレンズ換算ができる、お勤めのアプリケーションである。

価格：¥1800(税込) 問い合わせ先：イオタデザイン 03(3806)4882 URL: <http://www.iota-design.jp/app/develop/japanese.html>